

報告事項3. 2018年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

(1) 研究会・学術講演会の開催事業

1. 第83回日本循環器学会学術集会(JCS2019)

①会期：2019年3月29日(金)～31日(日)

会長：小室 一成(東京大学大学院医学系
研究科循環器内科)

会場：パシフィコ横浜

メインテーマ：循環器病学Renaissance
－未来医療への処方箋

②プログラム

・一般演題

(口述, ポスター, Featured Research Session)

・美甘レクチャー

・真下記念講演

・特別講演

・会長講演

・代表理事講演

・プレナリーセッション

・シンポジウム

・会長特別企画

・ジョイントシンポジウム

(AHA, ACC, ESC, CSC, KSC, APSC)

・ラウンドテーブルディスカッション

・トピック

・コントロールシー

・ミート・ザ・エキスパート

・モーニングレクチャー

・Late Breaking Clinical Trials

・Late Breaking Cohort Studies

・循環器教育セッション

・日本心臓財団佐藤賞記念講演

・2017年度採択医師臨床研究助成およびメ
ディカルスタッフ研究助成報告

・審査講演会

YIA Clinical research部門審査講演

YIA Basic research部門審査講演

国際留学生YIA審査講演

コメディカル賞審査講演会

・ガイドラインに学ぶ

・各委員会セッション・セミナー

海外留学ネットワークングセミナー

留学支援助成報告会

禁煙推進セミナー

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

脳卒中と循環器病克服5カ年計画

シンポジウム

・第3回倫理に関する講演会

・第3回医療安全に関する講演会

・Circulation Journal Award Session

・チーム医療セッション

(一般演題, 教育講演, シンポジウム)

・サテライトセミナー(ランチョンセミナー

・ファイアサイドセミナー)

・機器・書籍展示

③プレレジストレーション

学術集会参加者向けに, 参加登録, 教育セ
ッション, ランチョンセミナー・ファイア
サイドセミナーのプレレジストレーション
を行う。

④印刷物・製作物

第83回学術集会関連の印刷物・制作物とし
て, プログラム集, 電子抄録アプリ, 教育
セッションテキスト, 企業展示ガイドブッ
ク, ピンバッジ, 英文パンフレットを製作
する。

⑤My Abstracts

演題抄録・チーム医療セッション抄録・共
催セミナー抄録を検索し, 必要な演題の抄
録だけを収録したオリジナル抄録集や日程
表が作成できるサービスをWEB版とアプ
リ版で行う。

⑥トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭
著者にトラベルグラントを支給する。支給
金額は, アジア近隣諸国は5万円, その他
の国は10万円とする。

⑦発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサ
イトで事前アップロードするための「発表
データプレエントリースystem」を公開す
る。

⑧託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応
可能な託児室を設置する。

⑨日本循環器学会ブースの出展

第83回学術集会の期間中, 展示会場にて学
会活動紹介のためのブースを出展する。

⑩学会賞

以下の賞に関して, 受賞者を決定する。

第44回日本心臓財団佐藤賞

第36回YIA Clinical research部門審査講演

第36回YIA Basic research部門審査講演

第27回CPIS賞

第16回国際留学生Young Investigators
Award

Circulation Journal Awards for Volume
82, 2018

Circulation Journal Asian Award for
Volume 82, 2018

Best Reviewers Award for 2018
第14回心臓血管外科賞
第14回小児循環器賞
第13回循環器再生医科学賞
第12回女性研究者奨励賞
第9回コメディカル賞
第8回循環器臨床研究奨励賞
第6回循環器イメージング賞
日本心臓財団・日本循環器学会2018年「心臓」賞

2. 第2回基礎研究フォーラム

(JCS Council Forum on BCVR)

- ①会期：2018年9月22日(土)～23日(日)
会長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学循環器内科)
会場：奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～
メインテーマ：Heart is Mystery – 生命の源は謎に満ちている
- ②プログラム
Special Lecture, Sponsored Symposium, Award Session, Poster Award Session, 基礎研究助成セッション
- ③Travel Award
海外から参加し発表を行う筆頭著者を対象に審査のうえ、最大20名までTravel Awardを授与する。
- ④製作物
抄録集

3. 地方会

- ①第119回北海道地方会
会期：2018年6月23日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：三浦 哲嗣(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)
- ②第120回北海道地方会
会期：2018年11月24日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：長谷部 直幸(旭川医科大学循環・呼吸・神経病態内科学)
- ③第166東北地方会
会期：2018年6月2日(土)
会場：アイーナいわて県民情報交流センター
会長：富田 泰史(弘前大学循環器腎臓内科学講座)
- ④第167回東北地方会
会期：2018年12月1日(土)
会場：仙台国際センター
会長：渡辺 昌文(山形大学内科学第一講座)
- ⑤第248回関東甲信越地方会
会期：2018年6月9日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)

⑥第249回関東甲信越地方会

会期：2018年9月22日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院)

⑦第250回関東甲信越地方会

会期：2018年12月8日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：清水 渉(日本医科大学内科学循環器内科学)

⑧第251回関東甲信越地方会

会期：2019年2月2日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：山下 尋史(関東中央病院心臓血管センター・循環器内科)

⑨第136回北陸地方会

会期：2018年7月8日(日)

会場：富山国際会議場

会長：絹川 弘一郎(富山大学医学部第二内科)

⑩第152回東海・第137回北陸合同地方会

会期：2018年10月20日(土)・21日(日)

会場：名古屋国際会議場(名古屋市)

会長：三島 晃(名古屋市立大学心臓血管外科)

大手 信之(名古屋市立大学心臓・腎高血圧内科学)

⑪第151回東海地方会

会期：2018年6月30日(土)

会場：じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)(岐阜県)

会長：西垣 和彦(岐阜市民病院第一内科/岐阜大学)

⑫第125回近畿地方会

会期：2018年6月30日(土)

会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：石原 正治(兵庫医科大学内科学冠疾患科)

⑬第126回近畿地方会

会期：2018年11月24日(土)

会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：安田 聡(国立循環器病研究センター)

⑭第112回中国・四国合同地方会

会期：2018年6月2日(土)・3日(日)

会場：広島国際会議場(広島市)

会長：三浦 俊郎(地域医療機能推進機構)

徳山中央病院)

- ⑮第113回中国地方会
会期：2018年12月1日(土)
会場：島根県民会館(松江市)
会長：城田 欣也(松江赤十字病院循環器内科)
- ⑯第113回四国地方会
会期：2018年12月15日(土)
会場：香川県社会福祉総合センター(高松市)
会長：南野 哲男(香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科学)
- ⑰第124回九州地方会
会期：2018年6月30日(土)
会場：かごしま県民交流センター(鹿児島市)
会長：大石 充(鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学)
- ⑱第125回九州地方会
会期：2018年12月1日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：石川 司朗(福岡市立こども病院循環器センター)

4. 地方会抄録検索システム

地方会症録オンライン検索システム「症例くん」に、過去の地方会データを登録する。

(2) 学会学術誌「Circulation Journal」「Circulation Reports」の刊行事業

- ①Circulation Journalを紙媒体、オンラインジャーナル、iPadにより発刊する。
- ②質の向上のための事業
国際編集会議をAHA開催期間中に開催する。Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し、議論を行う。プロモーション、Citation Noticeメール等によりImpact Factorの向上を目指す。
- ③「Circulation Reports」創刊事業
研究者の論文発表の場を増やすことを目的とした、Circulation JournalのSister Journalの位置づけにあたる刊行物として発刊する。2018年10月の新規投稿開始、2019年1月online創刊を目指して準備を行う。
- ④二次使用・広告料収入に伴う事業

(3) 学術研究助成事業

1. ガイドライン事業

- ①ガイドライン誌発刊
・2017-2018年度年度活動ガイドライン(2018年度発表)
 - 1) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関するガイドライン(赤木禎治班長/池田智明班長)
 - 2) 先天性並びに小児期心疾患ガイドラ

イン(安河内聰班長)

- 3) 冠動脈血行再建ガイドライン(中村正人班長/夜久均班長)
 - 4) 心筋症ガイドライン(筒井裕之班長/北岡裕章班長)
 - 5) 不整脈非薬物治療ガイドライン(栗田隆志班長/野上昭彦班長)
 - 6) 急性冠症候群ガイドライン(木村一雄班長)
 - 7) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(山岸正和班長/玉木長良班長)
- ②ガイドライン作成
- ・2018-2019年度年度活動ガイドライン(2019年度発表)
 - 1) 川崎病心臓血管後遺症の診断と治療に関するガイドライン(小林順二郎班長/深澤隆治班長)
 - 2) 大動脈瘤・大動脈解離診療ガイドライン(荻野均班長)
 - 3) 不整脈の薬物治療ガイドライン(小野克重班長)
 - 4) 弁膜疾患の非薬物治療に関するガイドライン(江石清行班長/泉知里班長)
- ③英訳版
- 1) 心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン(寺崎文生班長)
 - 2) 血管炎症候群の診療ガイドライン(磯部光章班長)
 - 3) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2017年度改訂版)(伊藤正明班長)
 - 4) 急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年度改訂版)(筒井裕之班長)
 - 5) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関するガイドライン(赤木禎治班長/池田智明班長)
 - 6) 冠動脈血行再建ガイドライン(中村正人班長/夜久均班長)
 - 7) 急性冠症候群ガイドライン(木村一雄班長)
 - 8) 心筋症ガイドライン(筒井裕之班長/北岡裕章班長)
 - 9) 先天性並びに小児期心疾患ガイドライン(安河内聰班長)
 - 10) 不整脈非薬物治療ガイドライン(野上昭彦班長/栗田隆志班長)
 - 11) 慢性冠動脈疾患診断ガイドライン(山岸正和班長/玉木長良班長)

④図表の転載申請の許諾

営利目的の制作物への図表転載申請を受け付け、転載許諾料を申し付ける。(※但し

医学書については無料とする。)

2. 循環器病におけるゲノム解析プロジェクト研究助成

第81回学術集会上に発表された「金沢宣言」に即した3つのプロジェクト研究に対して2年目の研究助成を行う。

3. 医師臨床研究助成、基礎研究助成およびメディカルスタッフ(医師を除く医療専門職)研究助成

2016年12月16日に制定された脳卒中と循環器病克服5ヶ年計画に基づき、5戦略の1つとして策定された人材育成を強化するために今後活躍が期待される若手医師研究者最大3名に「医師臨床研究助成」、最大5名に「基礎研究助成」とメディカルスタッフ最大3名に「メディカルスタッフ研究助成」を贈呈する。

4. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

(4) 登録・解析事業

1. 臨床効果データベース

各施設における拡張の検討を継続する。

2. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

①データの収集を行う。

②DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業

JROAD-DPCの運用を行う。研修・研修関連施設のDPC病院を中心にDPCデータの収集を行う。参加施設の増加、調査項目の見直しも検討する。

③公募事業

JROAD, JROAD-DPCデータを利用する研究公募を行い、データ提供の対価を研究者より受領する。

④事業モデルの確立

JROAD, JROAD-DPC事業継続のため、企業に対しても有償でデータ提供を行うことを前提に企業との共同研究(コンソーシアム設立)やクリニカル・イノベーション・ネットワークの構築について検討する。

3. BPA施設認定レジストリー登録

BPAの適応と実施に関するステートメントに沿って、認定施設、実施医、指導医の基準策定が関連学会との合意を受け、レジ

ストリー登録を行う。

4. 心原性ショックに関するレジストリ

心原性ショックに関するレジストリで登録されたデータの検証を行い、心原性ショックの転帰を改善させる対応を探究し、解析結果の論文化を行う。

5. ウツタインレジストリー

消防庁救急蘇生統計(ウツタイン調査)データの検証を行い、蘇生科学と救急心血管治療に対する研究を世界に向け、論文・発表を展開して行く。

(5) 交流事業

1. 国内交流

①日本医学会分科会として、日本医学会主催の評議員会等の会議に出席する。

②ICD-CRT研修制度協議会の運営を行う。

③日本糖尿病学会と連携活動を予防委員会内にワーキンググループにおいて行う。

④外科系3学会(心臓血管外科・胸部外科・血管外科)との相互乗り入れについての活動を行う。

⑤ステントグラフト実施基準管理委員会へ、実施基準に関する協議会(11学会)の1学会として参加する。

⑥循環器系のコメディカル関係学会とのジョイントセッションを双方の学術大会で開催する。

⑦医療放射線防護連絡協議会に理事を派遣する。

2. 国際交流

①海外学会(AHA, ESC, OCC)へブース出展を行う。

②各海外団体(ACC, AHA, CSC, ESC, KSC, APSC)とのジョイントシンポジウムを開催し、協議の機会を設け、関係を深める。

③国際留学生YIAの公募を行い、第83回学術集会上で審査講演を行う。

④海外留学ネットワークセミナーを新たに企画する。Main Advisor及びAssistantを公募し第83回学術集会上でセミナーを開催する。

⑤アジアの各学会へ学会活動の広報を強化する。

⑥加盟しているAPSC, WHFと積極的に活動を行う。

⑦新規プロモーションビデオを、アニメーションを使って作成する。

(6) 循環器学用語の検討

- ①循環器学用語集の一部改訂
ホームページで循環器学用語集に対する意見を求め、既存の用語集の改善について検討する。
- ②国際疾病分類(ICD)の改訂
WHO、厚生労働省から依頼を受け、ICD-10の部分改訂、ICD-11への大改訂に向けた作業を行うため委員を派遣する。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

(1) 循環器専門医事業

- ①第29回循環器専門医資格認定試験を実施する。
筆記試験日：2018年8月19日(日)
会場：パシフィコ横浜(神奈川)・梅田スカイビル(大阪)
- ②循環器専門医資格の更新審査を行う(対象2,560名予定)。
- ③単位受付方法や地方会運営を見直す。
- ④『循環器専門医』の発刊ならびに今後の発刊についての検討を行う。
- ⑤新専門医制度研修開始に向けて症例登録システムの構築を行う。
- ⑥新専門医制度に対応した施設指定審査・認定・認定施設の公表を行う。
- ⑦新専門医制度における基本領域と連動した循環器領域における制度の構築を行う。

(2) 循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. セミナー

- ①第14回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナー
主に研修医を対象に、レクチャー・グループ討論などを通じて循環器学の面白さを伝えるセミナーを開催する。
- ②第4回臨床研究デザインと統計解析合宿
若手から中堅の医師を対象に、臨床疫学及び臨床統計学のスキルアップを目的とした講義やハンズオン、グループワークを組み合わせて実践的な知識が身に付く内容の研修合宿を開催する。
- ③JCS-ITC(日本循環器学会国際トレーニングセンター)AHA心肺蘇生法コース
次の各講習会を全国で開催する。
 - ・AHA BLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLSプロバイダーコース
 - ・AHA ACLS EPプロバイダーコース
 - ・AHAハートセイバーCPR AEDコースまた、インストラクター養成のため次の

各講習会を開催する。

- ・AHAコアインストラクターコース
- ・AHA BLSインストラクターコース
- ・AHA ACLSインストラクターコース
- ・AHAハートセイバーインストラクターコース
- ・AHA ACLS EPインストラクターコース

④PCASセミナー

「心拍再開後ケアの標準化とチーム医療」をテーマに、医師、看護師等コメディカルを対象としたチーム医療について学ぶセミナーを、2018年7月28日(土)及び7月29日(日)にパラマウントベッドメディカルデザインスタジオ大阪で開催する。

⑤コメディカルセミナー

コメディカルスタッフを対象とした教育セミナーを開催する。2018年7月28日(土)パシフィコ横浜、8月19日(日)大阪国際会議場にて開催する。

2. 教材

- ①教育研修用eラーニングシステムの構築
会員の知識・技能の向上を目的に、教育研修用eラーニングのコンテンツの充実を行う。現在、約190タイトルを公開しており、最終的には200タイトルを目指す。
- ②学術集会DVD、教育セッションDVDの製作・販売
第82回学術集会で開催されたセッションを、より多くの医師が視聴研修することを目的に、セッションを収録したDVDの製作・販売を行う。

3. 男女共同参画

- ①第13回・14回男女共同参画委員会セミナーの開催
各支部における男女共同参画活動をサポートし、男女共同参画に対する理解と協力を得るため、地方会会場でセミナーを開催する。
- ②Travel Award for Women Cardiologists
本会の女性会員のキャリア支援を目的として、国際学会(ESC, AHA)において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕著する。
- ③循環器女性医師コンソーシアム(JCS-JJC)
女性循環器医の全国規模での交流を深め、循環器診療と研究の発展に寄与する。

4. 若手活性化

本会における若手医師等の活発な参加を促すための事業を検討し、実施する。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

(1) 心臓移植等にかかる事業

- ①心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- ②心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、植込型VAD事後検証を行う。
- ③自施設内適応判定により移植された症例の事後検証を行う。
- ④心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- ⑤日本の心臓移植の状況を世界に発信していくためCirculation Journalにアニュアルレポートを投稿する。
- ⑥心臓移植申請症例データベースの構築に向けて検討を行う。
- ⑦心臓移植並びに心肺同時移植に係る審議（実施施設の認定審査を含む）を行う「心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会」の事務局運営を行う。

(2) 広報・啓発事業

1. プレス向け

プレスセミナーの開催
循環器疾患に関する正しい知識や治療について、プレスを通じて広く社会に発信するためにプレスセミナーを開催する。

2. 市民向け

- ①第83回学術集会市民公開講座（会長企画）
- ②心臓移植市民公開講座
一般市民に心臓移植医療について理解を深めてもらう。
- ③心肺蘇生法市民公開講座
学術集会、地方会で一般市民を対象としてAEDを使用した心肺蘇生法の講習会を開催する。
- ④AEDの普及啓発活動
提言「スポーツ現場における心臓突然死をゼロに」をまとめ、スポーツ現場における突然死を防ぐ体制を提案する。
日本学校保健会、日本スポーツ振興センターとの連携事業の実施、eラーニング啓発を行う。
- ⑤心筋梗塞についての啓発活動
ホームページを利用した活動を継続して行う。市民向けの情報に加え、啓発活動を行っているモデル地区の発症状況を掲載することにより、学術的な観点から情報を掲載していく。
- ⑥ファミリー&フレンズコース

主に非医療従事者を対象として、心肺停止に対する初期対応の講習を行う。

⑦心不全啓発の推進

キャラクター「ハットリシンゾウくん」を用いた心不全啓発キャンペーンを行う。具体的にはポスターの配布や心不全啓発に関する動画を作成し、SNS等を活用して周知を促す。その他、他学会と共同して心不全治療に関するステートメント作成や、患者向けチェックリストの作成を行う。

⑧禁煙啓発キャラクターを使用した禁煙啓発活動

各地の市民向けイベントに禁煙相談ブースを設置し、喫煙者への禁煙啓発を促す。また、本会の禁煙推進キャラクター「すわん君」のtwitterを通じて本会の禁煙啓発活動を広く周知する。

⑨禁煙教材の作成

禁煙パスポート、DVD、ポスターの制作、販売を行う。

3. 会員向け

- ①学会ホームページの運営・リニューアル
会員、一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。会員への情報サービス向上を行う為、ホームページのリニューアルを検討する。
- ②ニュースメールの配信
会員への情報サービスとして学会からの各種お知らせを「JCS News Letter」として配信する。

4. 官公庁等への働きかけ

- ①「脳卒中・循環器病対策基本法」成立に向けた活動
国民の健康寿命の延伸と循環器病を取り巻く問題を解決するための法律を成立させるべく、関連団体と活動する。
- ②診療報酬に関する調査
循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力し診療報酬改定後の影響について調査を行い、要望等を行う。
- ③循環器救急の実情に関するアンケート調査
診療報酬改定に伴う救急医療への影響を調査する。
- ④CCU加算に対する働きかけ
「CCUにおける重症度、医療・看護必要度」について要望を行う。

(3) 医療事故調査制度

2015年10月から開始された「医療事故調査制度」について、本会は病院での院内調査および

び医療事故調査・支援センターのセンター調査への専門家の派遣を行うこととなっており、依頼があった場合は専門家を派遣する。

(4) 鑑定人推薦依頼

最高裁判所からの鑑定人推薦依頼に専門家を派遣する。

(5) 終末期症例登録について

救急医学会，集中治療医学会，循環器学会3学会合同で，終末期症例登録システムを構築する。

●循環器領域に関係する他団体業務の委託事業

1. 「禁煙推進学術ネットワーク」事務局業務の受託

参画学会の中心メンバーとして他学会との連携強化，循環器病克服5ヶ年計画の禁煙予防分野としての推進を図る。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 脳卒中と循環器病克服5カ年計画

5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標に，脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め，目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を実行するため，我が国と本会の今後5年間の事業について計画・実行する。

2. 大規模・中規模災害に対する対応

過去に発生した災害をモデルとして，災害発生時に本会や関係団体が取るべき対応をシミュレーションし，検討する。

3. 新会員システムの構築

会員の学会活動の利便性の向上を目的に，学会事務局で使用する会員管理システムの新規構築を推進する。

4. 勤務医師賠償責任保険

本会の勤務医師賠償責任保険を運用する。会員は割引価格で保険に加入でき，本会には医師賠償責任保険料の5%，総合補償保険の3%が収益となる。

5. FJCS制度

会員の学会活動への活発な参画により本会

をより活性化させるため，フェロー会員の認定と職務の検討を行う。

6. 会員への周知

会員に向けて周知すべき事項を案内するため，会告の2018 No.2～No.4・2019 No.1を発刊する。冊子での配布は有償とし，併せてホームページ及びメールにて会員に公開する。